



GOOD NEWS と きの こ え

War Cry

7月号

福音版
2024
July
No.2872

二〇二四年 七月一日発行

明治二十八年創刊

福音版・毎月一日発行 広報版・奇数月十五日発行

勝利に導く 究極のリーダー

宇賀神 努

オリンピックが始まりま
す。技を競い、勝利を目指
す中に様々なドラマが生ま
れます。スポーツに限らず、
目標を達成するためにはリ
ーダーの存在が大切です。

その存在が良くも悪くも大
きな影響を、成果にも人に
も及ぼす場合があります。
皆さんもクラブ活動や職場
など、様々な場で様々なリ
ーダーのもと活動し、ご自



身もリーダーの役割を何か
しら経験してきたのではな
いでしょうか。そして、理
想のリーダー像があるので
はないでしょうか。

では、次のようなリーダ
ーはいかがでしょうか？

◆笑顔で安心感がある。む
やみに感情的にならない。

◆メンバー一人ひとりを分
け隔てせず、尊重する。

◆自らメンバーに関わって
いく。自分から挨拶し、声
をかけるのが常。

◆メンバーに関心をもち、
理解し、ニーズを知ろう
とする。

◆顔を向けて人の話を聞く。
話を聞く機会をつくる。

◆メンバーからの問いかけ
には必ず答える。

◆意識して人と人とを結び
付ける。そのネットワー
クは外部に広がる。

◆メンバーを信頼して役割
を任せる。チーム一人ひ
とりを活かす。

◆成果を認めて、メンバー
と祝う。

◆約束を守る。誠実。
◆謙遜。威張らない。自分
の手柄にしない。

◆正直で心を開いている。
泣いたり、笑ったり人間
味がある。
◆自分もメンバーも同じ人
間で、弱さもあるし、失
敗もすると理解している。

◆自分が間違っていたら謝
る。人のせいにしない。自
己防衛をしない。

◆リーダー自身にも仕える
人がいて、その人に忠実。

◆明確なビジョンをもち、
メンバーと共有する。変
化を歓迎する。

◆状況をあらゆる面から把
握し、的確な意思決定を
する。

◆明確な指示を適切なタイ
ミングで出す。メンバー
を迷わせない。

◆締めるところは毅然と締
める。

他にも挙げられるかもしれ
ませんが、皆さんも周りに
これらに当てはまるリーダ
ーが思い浮かぶのではない
でしょうか。メンバーから
信頼と尊敬を得て、影響を
与える人です。

聖書には、究極のリーダ
ーの姿が記されています。
それはイエス・キリストで
す。イエスは言われました。

「あなたがたの中で偉
くなりたいた者は、皆に仕
える者になり、いちばん
上になりたい者は、すべ
ての人の僕になりなさい。」(マルコによる福音書10
章43、44節)

イエスは世界のすべてを
創造した神でありながら地
上に人として来られました。
無力な赤子の姿で生まれ、

罪は犯さずとも、人間の弱
さも痛みも理解してくださ
います。一人ひとりを大切
にし、とことん愛し、謙遜
に仕えるリーダーです。分
け隔てせず、優しい笑顔で、
自ら人に関わってください
ます。その言葉には権威が
あり、真実です。人々が使
命を果たせるように、知恵
と力を授けて導いてくださ
います。

このリーダーに従う時、
弱い時にこそ力が与えられ
必ず最善の道に導かれます。
このリーダーを本とする
時、愛のチームが生まれ、目
標に向かって進むことがで
きます。例に挙げた理想像
はイエスにあるものです。
そして、「WJJD (What
Would Jesus Do)? イエ
スだったらどうするのだろ
う?」この問いかけをリー
ダーたちがするだけで大き
な変化が生まれます。

そして何より、イエスは、
私たちの罪を解決するため、
身代わりに十字架にかから
れ、その死に打ち勝たれま
した。このイエスを信じ、従
う時、私たちは天の国に入
るといふ究極の勝利にあず
かるのです。

究極のリーダー、イエス・
キリストと共に人生を歩ん
でみませんか。
(救世軍杉並小隊(教会)所属)



妻と長男と共に

自己実現ではなく、 神様のご計画のために

くらもち
倉持 守さん

(神の家族主イエス・キリスト教会伝道師、国内宣教師)



キリスト教会の教派を超えて、伝道の働きに携わる倉持さん。祈りの時間を通して神様が共におられることを深く知った体験、そして、今に至るまでの信仰の歩みをお聞きしました。

「部屋にいる時の神様」との大切な時間

私の両親がクリスチャンでしたので、小さい頃から教会に通っていました。小学生の時に洗礼を受けて神様を信じていましたが、大人になり、建設会社に就職すると、仕事の忙しさと責任で信仰生活に対して落ちていく向き合えなくなりま

中で、牧師の勧めもあり、「ワークショップ・ジャパン」という教会音楽家・賛美奉仕者を育成する学校に行くことになりました。クリスチャンが集まる学校です。ここでは平穏な生活が待っていると思っただけですが、蓋を開けてみると、様々なトラブル続きの日々でした。そんなある日、部屋で一人で聖書を読み祈っていた時、マタイの福音書六章六節の

「あなたは、祈るときには自分の奥まった部屋に入りなさい。そして、戸をしめて、隠れた所におられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れた所で見ておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます」という御言葉が示されました。部屋の扉が少し開いていたので、御言葉とおり、その扉を閉め、神様と自分だけの空間で祈っていると、

主のご臨在りんざい（見えない神がそこに存在すること）をはっきりと感じました。礼拝はもちろんです、イベントなどで恵まれる経験はありますが、一対一で交わる「部屋にいる時の神様」が自分にとってとても大切になりました。ローマ人への手紙八章二六節に

神様が共にいてくださることを深く知って

「御霊みたまも同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、

どのように祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてくださいます」とあるように、神様との祈りの時間が聖霊によって助けられ満たされるものとなりました。そして、祈りがかなえられる体験をしました。

聖書のイザヤ書六章八節に、「わたしを遣わしてください」という預言者イザヤの言葉があります。子どもの時に、よくこの言葉で祈っていました。なぜかというところ、教会に優秀な人がたくさんいて、自分が用いられるという経験を実感し、他者がうらやましく、自分も活躍したいという自己実現の願望から、この祈りをしていただきたいと思います。

でも、「部屋にいる時の神様」を通して気づかされたことがあります。この聖書箇所前の部分で、イザヤは主のご臨在にふれた時「私は、もうだめだ。私はく

ちびるの汚れた者で、くちびるの汚れた民の間に住んでいる」と言っており、「私を遣わしてください」と答えたのは、イザヤの罪がきよめられて聖霊が与えられた後のことだったので、自分に能力が何かがあるから遣わされるのではなく、まず神様が共にいてくださることを深く知る体験が自分にも必要だったと気づかされました。

その後、もつと御言葉を学びたいという思いで、宮城県にある「拡大宣教学院」で三年間学ぶことになりました。小さな村にある神学校で、自分にとってとても



教派を超えて、主にある兄弟たちと



拡大宣教学院で（右端）



今までの歩みの中で、神様のお恵み、お導きがたくさんありましたが、そのいくつかをお分かちいたします。音楽の町・仙台で、「ゴスペル・フェスティバル」というイベントがあった時に、その実行委員長をしていたのが拡大宣教学院の学長で、大きなホールでイベントをするから舞台監督をするように頼まれました。学長は、以前私が舞台監督を夢見ていたことは知らずに声をかけてくださったのです。本番までわずか二週間しかあ

ただ神様の御心に従って

祝福されたすばらしい三年間でした。自然豊かな場所で環境が良く、恵みと気づきがたくさんあり、主に献げる礼拝と賛美の奥深さを教えていただきました。信仰や礼拝についてぼやけていた部分に確信が与えられ、この恵みを外に向かって伝えなければならぬという思いが強くなりました。現在、日本には八千近くの教会があると云われますが、無牧（牧師が遣わされていないこと）や信徒の減少で閉鎖しようとしている教会も多くあると聞きます。自分

りませんでした。段取り、図面作成と発注など、プロの技術スタッフとの初めてのやりとりは大変でしたが、以前建設会社で仕事をしてきたことがここで活かされました。千五百人ほど入るホールでのイベントで舞台監督をさせていただき、神様の不思議なお導きを感じました。

今、自己実現の願いではなく、与えられたすべての働きの中に、神様のご計画が実現されることを願っています。

に示されているのは、そのような教会の礼拝、特にワークショップ（賛美の音楽）の部分について関わっていきたいという願いです。今、「国内宣教師」としての働きを始めています。「国内宣教師」とは、海外や教会のない僻地に遣わされる「宣教師」とは違って、日本国内の、すでにある地域教会で、礼拝の刷新、奉仕者の育成から建物の修繕まで、教会がもう一度息を吹き返すための働きをする者のことです。

自分が何をやるのか、祈りながら進めることは、すべてしてしまいうことよりも難しいです。神様に信頼しきる信仰が試されます。時には、計画し

クトーンで両手両足を使って演奏してきたことが、ドラムをたたく時にも役に立ったと思います。今では、教会の子どもたちに音楽を教える機会があり、教えた子どもたちが賛美の奉仕をしている姿を見ると、自分としてきたことが次の世代に受け継がれていくことにとっても喜びを感じます。超党派での働きもさせていただいていますが、自分の教会を出て働きをすることに悩んでいた時に、ヨハネの福音書一〇章一六節の「わたしにはまた、この

ビジネスでは、すべての仕事に抜かりない準備が重要ですが、教会の働きをするようになってから自分の意識が変わったのは、準備しすぎてもいけないという事です。準備する人間がすべて決めるのではなく、神様のご計画があり、それが実行されるよう、最終的な判断はしないまま進めなければならぬことがあります。超党派の働きでも、いろいろな意見が出る中で、神様はどう求めているのかを聞きつつ、準備できるところはしますが、核となる部分は決定しないで進む、ある意味での曖昧さとのバランスが難しいところです。



昨年12月、神の家族主イエス・キリスト教会と救世軍合同のユースクリスマスパーティー

てきたけれど開催できなかったこともありました。でも、それは神様の望まれてないことだと感じることはありませんでした。できるように準備はしますが、閉ざされる時もある。ただただ神様の御心に従っていきたいです。主が求めておられることを常にキャッチしながら、与えられた役割を一生懸命させていただきたいと願っています。

※本文中の聖書は新改訳聖書第三版です

創立者 ウィリアム・ブース 大將 リンドン・バッキンガム (万国本営 英国ロンドン) 日本司令官 スティーブ・モーリス (救世軍本営 東京都千代田区)



世界をみつめて

〈日本〉 ●能登半島地震被災地への支援 活動第4回給食 (炊き出し) 支援

救世軍は「能登ヘルプ」(能登地震キリスト災害支援会)との連携のもと、5月15日(水)に第4回の給食支援を石川県珠洲市にておこない、珠洲市総合病院に勤務されているエッセンシャルワーカーの方々へ、温かい焼肉弁当をお届けしました。珠洲市では現在も1,900以上の世帯で断水が続いており、いまだ避難所での生活を余儀なくされている方々もあるとのこと。引き続きお祈りとご支援をお願いいたします。

また、これらの支援活動のために東京・かっぱ橋の料理道具専門店「飯田屋」様からは、ごはんネットの寄贈を、東京・蔵前の「ドーナツもり」様からは、



おいしいドーナツの提供をいただきました。皆様のご協力に支えられていることを感謝いたします。



オンライン社会鍋 (募金) はこちらから▶



〈豪雨災害被災地への支援〉

●ケニア アフリカ東部のケニアでは、3月から相次ぐ豪雨により、全土で洪水や地滑りが発生し、4月末までに少なくとも188人が死亡、行方不明者も出ているとのこと。約20万人が避難しており、多くの人々が家屋や家畜、生業を失っています。

首都ナイロビでも大きな被害が出ており、現地の救世軍は、5月初旬にナイロビ近郊のマタレで500世帯、ン



ジルで250世帯分の米、豆、油や毛布、衛生用品の提供をおこないました。

現地の救世軍は、政府機関やケニア赤十字、他の教会など、様々な組織と協力、連携しながら、被災した人々のニーズに応え、求められる支援を届けられるよう、働きを続けていきます。

●ブラジル ブラジル南部のリオ・グランデ・ド・スル州では、4月末から続いた大雨により洪水が起き、州都ポルト・アレグレでは川の堤防が決壊し、市街地の多くが水没しました。この州では5月8日時点で100人の死者が報告され、16万人近くが避難を余儀なくされました。現地の救世軍の小隊(教会にあたる)やバザー場も被災しました。

州の中部にあるサンタ・マリアの町では、救世軍の小隊近隣の地区で土砂崩れがあり、大きな被害が出ました。救世軍のチームは地域を訪問し、衣服、水、食料、清掃用具、衛生用品の配布をおこなっています。今後も、被災した人々に精神的、霊的なサポートを提供しながら、更なるニーズの調査を実施する予定です。



救世軍とは? What is The Salvation Army? 心は神に 手は人に Heart to God, Hand to Man

救世軍は、世界134の国で活動するプロテスタントのキリスト教会で、国際本部は英国ロンドンにあります。1865年7月、英国のメソジスト教会の牧師ウィリアム・ブースが、東ロンドンのホワイトチャペル街で伝道集會を指揮したのがその働きが始まりでした。この伝道集會がおこなわれた7月2日が救世軍の創立記念日となり、今年で159周年を迎えます。

当時の英国は産業革命により貧困などの社会問題が発生し、東ロンドンには社会から疎外された貧しい人々が集まっていました。ブースはそのような人々に向かい、食事の必要な人には食事を、住む家のない人には清潔な家や仕事を提供し、その上で魂の救いのため聖書のメッセージを伝えていきました。働きは発展し、1878年には「The Salvation Army」(救世軍)の名称が生まれ、英国のみならず世界各地へと急速に広まっていきました。日本では1895(明治28)年に活動が始まり、現在、全国40の小隊(教会にあたる)での伝道とともに、2つの病院、19の社会福祉施設で、また災害時の緊急支援などを通して働きを進めています。

☆『キッズ・ゴスペル』コーナー☆ (子ども向け紙面) 左のQRコードから、今月の『キッズ・ゴスペル』を閲覧できます! 聖書のお話も動画で見られます。ぜひ、ご覧ください!

救世軍公報 ときのこえ 発行日 福音版/毎月1日、広報版/奇数月15日 定価 福音版/1部40円、広報版/1部100円 (税込) クリスマス特集号(12月1日号)/1部100円 振替 00180-5-4400 発行兼 救世軍 印刷人 代表者 スティーブ・モーリス 編集人 山谷 真 発行所 救世軍本営 https://www.salvationarmy.or.jp 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 電話 03-3237-0881(代表) Mail jpn.editorial@jpn.salvationarmy.org 印刷所 ピーアンドエス

聖書は新共同訳を使用しています ©共同訳聖書実行委員会 ©日本聖書協会 救世軍は、旧統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。これらの問題でお悩みの方は、下記救世軍にご相談ください。 【取り扱い支部】 救世軍への連絡をご希望の方は、以下の中から該当する項目及び住所氏名をご記入の上、救世軍本営(左記)もしくは、上記救世軍にご連絡ください。 ・私の近くの救世軍を紹介してください。 ・キリスト教についてもっと知りたいです。 ・『ときのこえ』の購読を申し込みます。 ・相談を希望します。